

議会だより しすい

No.185

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

平成29(2017)年11月1日発行

郷土愛や誇りを高めるまちづくりを 酒々井・千葉氏まつり



天高く馬肥ゆる秋となった10月1日に「酒々井・千葉氏まつり」が中央台公園で開かれ、町内外から約3000人の方が訪れました。

平成28年度決算・・・・・・・・・・・・・・・・P2~P5

産業振興基本条例など議案審議・・・・・・・・P6~P13

道路整備事業や子育て支援、公共施設整備など議員10名が町政を問う・・・・・・・・P14~P19



自主財源比率が 向上

9月定例会の概要

9月定例会は、9月5日から9月27日までの23日間の会期で開催されました。

町長から提案のあった条例の制定、各会計の決算認定、補正予算などの議案14件および議員より提案のあった発議案4件が提出され、それぞれ慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、町長から「一般会計予算継続費精算報告書について」などの報告が2件「ふるさと酒々井 地方創生の取り組みについて」などの行政報告が2件表明されました。

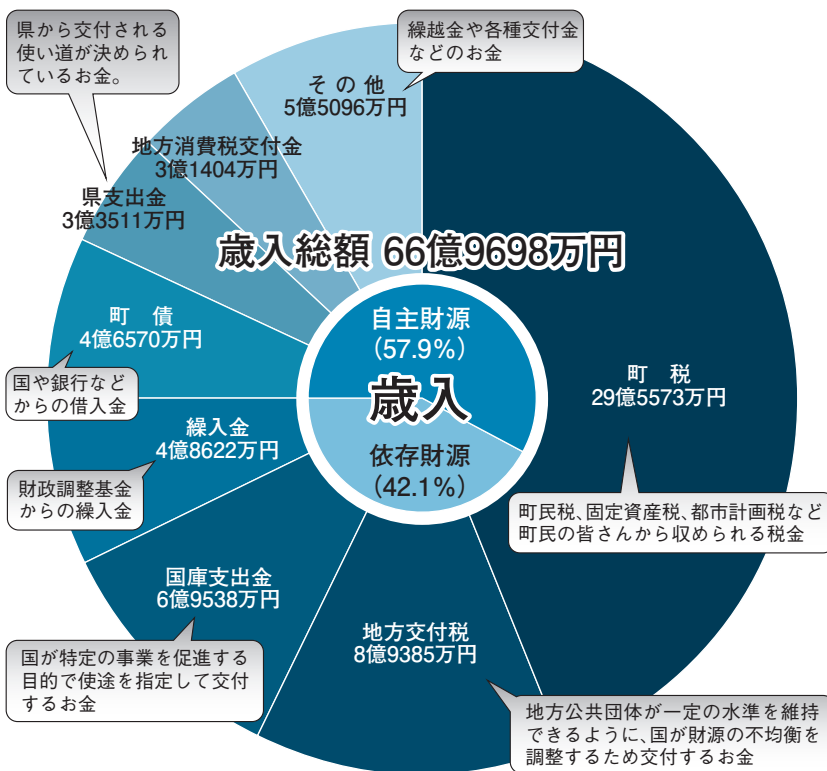
なお、各会計の決算については、議員6名からなる「決算審査特別委員会」を設置し、集中的に審議しました。

一般質問は10名の議員が2日間にわたり行い、地域振興、子育て、防災対策など、町政全般について町長や各課長に説明を求めました。

<歳入の概要>

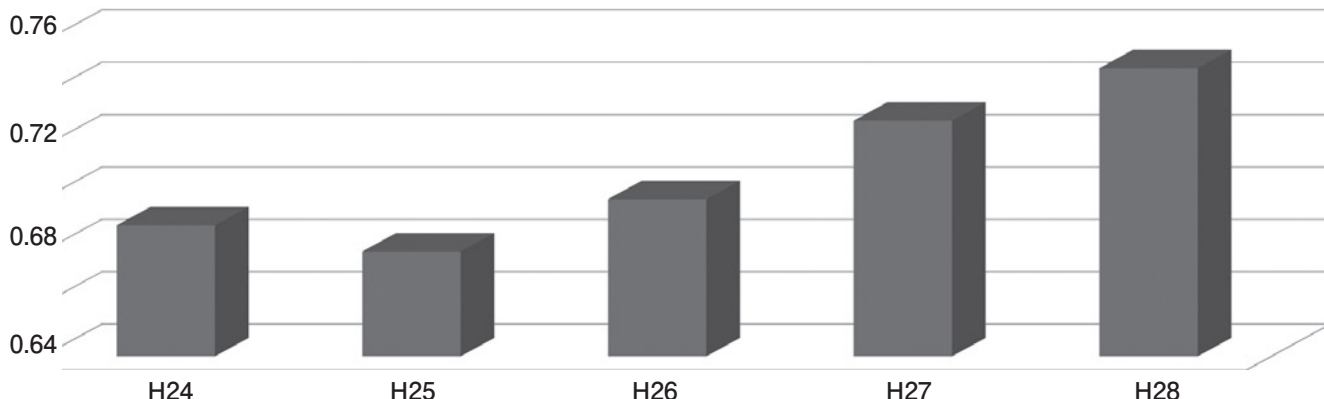
町 税は、法人町民税、固定資産税などの増加により、前年度比9419万円の増額、地方交付税は、町税の増加による普通地方交付税の減少などにより、前年度比1億477万円の減額、繰入金は、財政調整基金からの繰り入れが増加したことにより、前年度比1億7199万円の増額、町債は、臨時財政対策債などの借入減少により、前年度比1億360万円の減額となっています。

また、自主財源比率は、町税などの増加により、昨年度比97.81万円増額し、歳入構成比の57.9%となっています。



※千円単価は四捨五入しています。

<財政力指数の推移>



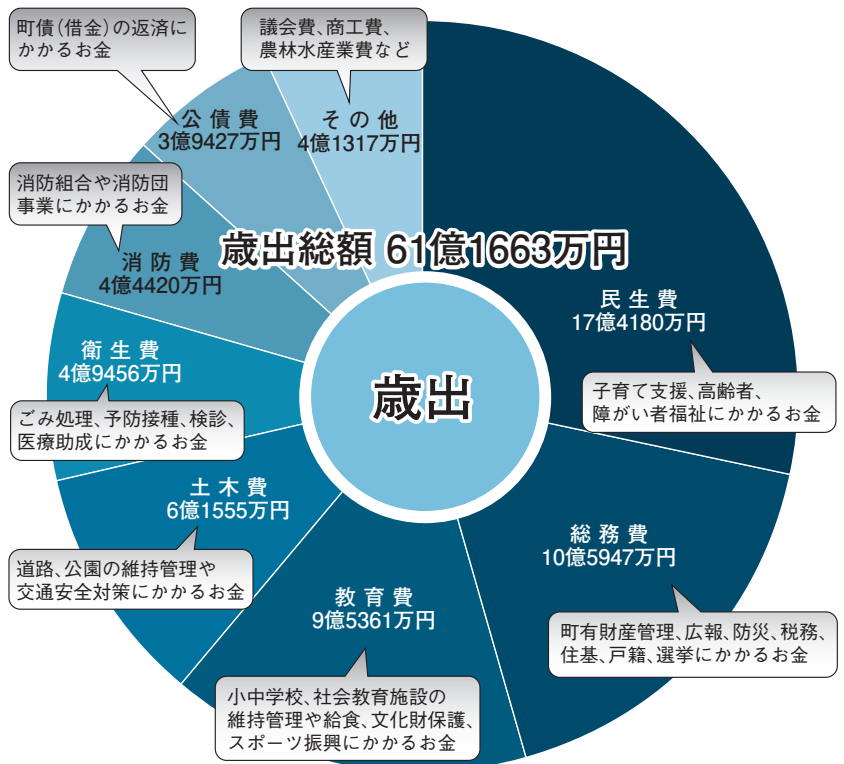
※財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す数値で過去3年度の平均値です。数値が1に近いほど普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言われています。

固定資産税などの増収で

財政調整基金(貯金)が3年ぶりに増加 財政力指数も3年連続改善

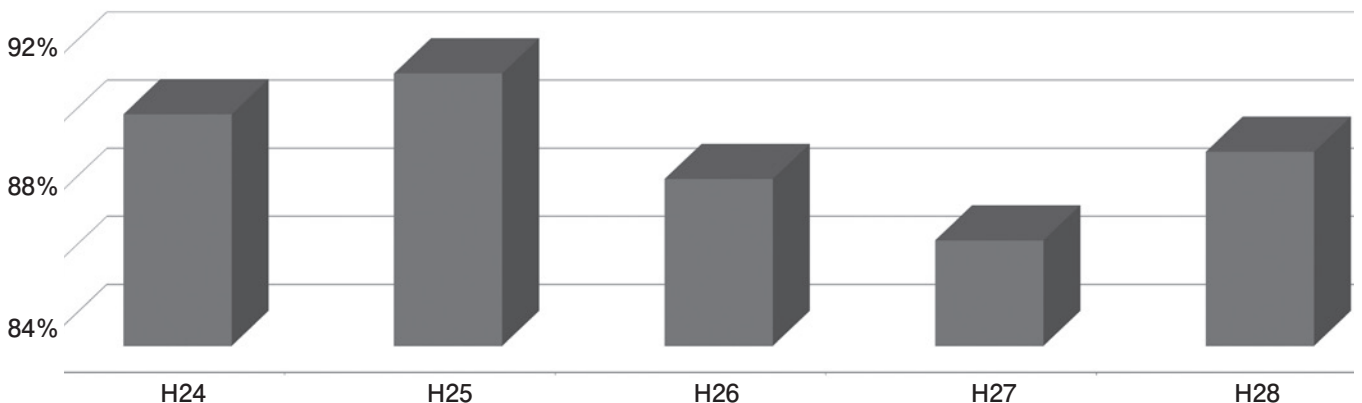
<歳出の概要>

民生費は、年金生活者等支援臨時給付金などにより、前年度比2884万円の増額、総務費は、分庁舎建設工事の終了などにより、前年度比5899万円の減額、教育費は、前年度比143万円の増額、土木費は、社会資本総合交付金を活用した交通安全施設工事などの減少により、前年度比338万円の減額、衛生費は、清掃組合負担金の増加により、前年度比2411万円の増額、消防費は、消防組合への負担金が増額したことにより、前年度比673万円の増額となっています。



※千円単価は四捨五入しています。

<経常収支比率の推移>



※経常収支比率とは、財政構造の弾力性を判断する数値で人件費、扶助費、公債費の義務的性格の経常経費が町税、普通交付税などの経常的一般財源に占める割合です。数値が低いほどいろいろな事業に使えるお金に余裕があると言えます。

平成28年度決算に関する討論

私は賛成です

昨年引き続き、大変厳しい財政状況の中、日本経済と財政運営あるいは、地方財政等の動向を考慮しながら、自主財源の確保に努めるなど財政運営の痕跡^{こんせき}がうかがえる。

歳出では、経常経費の削減に取り組むとともに、事業の投資効果、緊急性に配慮し財源の重点的、効率的配分に努めながら総合計画等を考慮した事務事業

越川 廣司 議員

**事業の投資効果、緊急性に
十分配慮しており賛成**

健康福祉事業ではファミリーサポートセンター事業、利用者支援事業に取り組み、生活環境整備では、新たに防犯ボックスを設置し防犯力の向上を図った。住民との協働では、住民公益活動支援事業、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業、千葉氏まつりの開催などを実施した。

また、財政健全化比率および資金不足比率についても、いずれも健全を示す比率となっていることから、賛成する。

私は反対です

**事業の優先順位、説明責任
が不十分であり反対**

地福 美枝子 議員

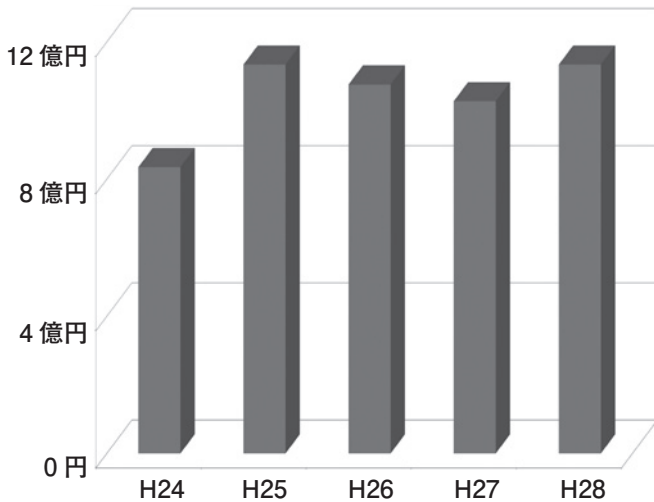
行政のお金の使い方をチェック、監視するのが議員の仕事であり、以下のとおり指摘する。

住民非課税世帯の紙おむつ支給は、以前から町民の要求があり、非課税世帯だけではなく必要な世帯すべてに支給すべき。中学校グラウンド拡張、整備については、生徒たちの強い要望があるにもかかわらず、具体的にどのようになっているのか

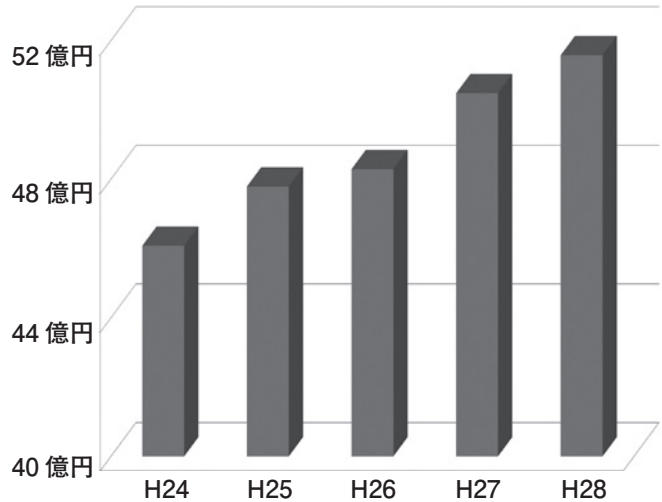
の説明が不十分。昨年から行っている千葉氏まつりは、費用の全容を示すべき。子ども・子育て支援施設など、数件の土地購入に際して不透明さがある。土地の必要性、経過、購入価格、今後の計画について、納得できる説明がない。

道路改良工事に關しては、要望のある道路を最優先に、まず整備すべき。何を優先して予算を使うかが重要である。そこに、行政の仕事としての真価が問われるのでは、また、十分な説明責任も果たすべきである。

＜財政調整基金（貯金）の推移＞



＜町債（借金）残高の推移＞



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。また、財政調整基金以外にも使用目的の決まった基金があります。

※町が学校や道路等の整備のために国や金融機関等から長期的に借り入れた資金の残高です。平成28年度の町債のうち臨時財政対策債分が36億6900万円を占めています。

※臨時財政対策債とは、地方交付税として交付するべき財源（国の地方交付税特別会計の財源）が不足した場合に、地方交付税を減額し、減額分を地方公共団体自らが地方債として発行する制度です。元利償還金に要する費用は後年度の基準財政需要額に算入（地方交付税措置）されます。

決算審査特別委員会での意見・要望事項

〔全般的事項〕

○税の徴収率が向上していることは評価できる。今後も徴収率向上に努め、特に法人町民税の滞納防止に努められたい。

〔一般会計〕

○荒廃地環境保全協働事業補助金については、平成 28 年度をもって終了したが、景観や通学路の安全確保の観点から保全について努められたい。

○酒々井中学校の楽器について、学校の要望に沿うように予算配分されたい。

○中学校のグラウンド整備については、生徒の安全を確保するため、早期完成に努められたい。

○酒々井小学校のプールについて、跡地利用の具体策を検討されたい。

○高齢化対策として、紙おむつ支援事業については、支給要件を緩和し制度の充実を図られたい。また、緊急通報装置貸与事業については、日中に独居状態である高齢者も対象にされたい。

○工事等の用地購入にあたっては十分に調査した後に購入し、町民に十分な説明ができるよう努められたい。

○道路改良事業については、現在工事を実施している路線を優先し、早期に完成させるよう努められたい。



早期完成が待たれる本佐倉地先の町道 02-011 号線

〔水道事業会計〕

○水道事業は町民の生活に直結していることから、職員の確保および適正配置をされたい。

< 決算審査特別委員会 >

委員長 江澤 眞一 副委員長 須藤 伸次
委員 瀧口 信昭 那須 光男 竹尾 忠雄 高崎 長雄

◆ 議案第 6 号 平成 28 年度各種会計決算額 ◆

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	議決結果
歳入総額	66億9697万9千円	43億68万5千円	29億4162万4千円	11億4201万6千円	2億1704万5千円	原案認定 (賛成12人 反対3人)
歳出総額	61億1662万8千円	40億9533万2千円	27億6822万9千円	11億1151万2千円	2億1559万1千円	

◆ 議案第 7 号 平成 28 年度水道事業会計決算額 ◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
6億3674万4千円	3億8763万8千円	817万9千円	2億5550万5千円	原案認定 (賛成15人 反対0人)

◆ 議案第 8 号 平成 28 年度下水道事業会計決算額 ◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
3億8832万7千円	4億21622万3千円	8228万1千円	1億9932万5千円	原案認定 (賛成15人 反対0人)

地域の発展を目指し 産業振興基本条例を制定

町、事業者、産業経済団体、町民の役割等を明らかにし、産業振興と地域社会の発展に寄与



農業、商業、工業、観光の振興および企業誘致、雇用促進の施策の展開が期待されます

平成29年9月議会で上程された議案等は次のとおりです。

議案

【議案第1号】 都市計画事業基金を設置

財政負担の平準化を図るため、充当する都市計画事業が都市計画税徴収額を下回った場合に、残額を積み立てるための基金を新たに設置する条例を制定するもの。

※全員賛成で可決



将来の財政負担の平準化が図られます

【議案第2号】 産業振興基本条例を制定

地域の特性を活かした産業振興のあり方や今後の方向性のほか、町や事業者、産業経済団体、町民の役割など、地域の産業を育て町内産業の振興に関する基本的な事項を定めることを目的に、条例を制定するもの。

※全員賛成で可決

【議案第3号、第4号】 税賦課徴収条例、都市計画税条例の一部改正

地方税法および航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が平成29年3月31日に公布されたことに伴い、町税賦課徴収条例および町都市計画税条例について、所要の一部改正を行うとともに、条文中の文言の整理を

わせて行うもの。
※議案第3号は賛成多数で可決
議案第4号は全員賛成で可決

【議案第5号】 軽自動車税の賦課徴収に関する申告書の受付事務の変更に伴う協議

千葉県町村会へ委託されている軽自動車税の賦課徴収に関する申告書の受付事務を平成30年4月から千葉県市町村総合事務組合の共同処理事務として行うため、組合規約中、組合の共同処理する事務に同事務を追加し、共同処理する団体に関する規定について改正を行うもの。

※全員賛成で可決

【議案第6号、第7号、第8号】 一般会計、各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の歳入歳出決算認定

※詳細は2ページから5ページをご参照ください。



仮装コンテスト等で大いに盛り上がった酒々井・千葉氏まつり

【議案第9号】
一般会計を増額補正

今回の補正は制度改正や決算の確定等に伴うもので、歳出では、マイナンバーカードシステム改修経費、各種基金積立金、酒々井・千葉氏まつり実行委員会補助金、防犯カメラ設置事業、後期高齢者医療給付費負担金、観光案内看板設置事業、道路用地買収事業、中学校の校旗購入のための費用について補正するもの。

また、歳入では、額の決定に

伴う普通交付税、臨時財政対策債の増額、平成28年度決算に伴う各特別会計からの繰入金および繰越金の増額により、一般会計を5745万5千円増額するもの。

※賛成多数で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	64億3617万5千円
補正額	5745万5千円
合計	64億9363万円

【議案第10号】
国民健康保険特別会計を増額補正

今回の補正は、決算の確定に伴うもので、歳出では、決算に伴う国庫償還金および今後の歳出に備え一般療養給付費を増額するもの。

また、歳入では、当初課税に伴う一般被保険者国民健康保険

税の減額および平成28年度決算に伴う繰越金の増額により、525万9千円増額するもの。

※全員賛成で可決

<国民健康保険特別会計補正予算額>

補正前	30億291万2千円
補正額	5525万9千円
合計	30億5817万1千円

【議案第11号】
介護保険特別会計を増額補正

今回の補正は、決算の確定に伴うもので、歳出では、基金積立金、国・県・支基金への償還金および一般会計への繰出金を増額するもの。

また、歳入では、支払基金交付金および繰越金の増額により、2851万7千円増額するもの。

※全員賛成で可決

<介護保険特別会計補正予算額>

補正前	12億1618万6千円
補正額	2851万7千円
合計	12億4470万3千円

【議案第12号】
後期高齢者医療特別会計を増額補正

今回の補正は、決算の確定に伴うもので、歳出では、千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金および一般会計への繰出金を増額するもの。

また、歳入では、繰越金の増

<後期高齢者医療特別会計補正予算額>

補正前	2億2500万円
補正額	145万4千円
合計	2億2645万4千円

額により、145万4千円を増額するもの。

※全員賛成で可決

【議案第13号】
水道事業会計を増額補正

今回の補正は、人事異動に伴うもので、収益的支出を597万8千円減額し、資本的支出を306万4千円減額するもの。

※全員賛成で可決

<水道事業会計補正予算額>

収益的支出	補正前	4億5174万7千円	資本的支出	補正前	4億5472万3千円
	補正額	△597万8千円		補正額	△306万4千円
	合計	4億4576万9千円		合計	4億5165万9千円

【議案第14号】
下水道事業会計を減額補正

今回の補正は、人事異動に伴うもので、収益的支出を201万7千円減額し、資本的支出を1921万5千円増額するもの。その他の資本的支出は、平成28年度決算に伴う一般会計補助金返還するもの。
※全員賛成で可決

<下水道事業会計補正予算額>

収益的支出	補正前	4億4011万7千円	資本的支出	補正前	2億8636万2千円
	補正額	△201万7千円		補正額	△1921万5千円
	合計	4億3810万円		合計	3億557万7千円

議案への賛成討論

【議案第2号】

町外発注の見直しを図り町より範を示すべき

御園生 浩士 議員

条例の第1条(目的)では、産業の振興は、経済活動を活性化させ地域に活力をもたらすなど、町民生活を向上させる役割を担っている。

町内産業の発展を図るためには、地域の特性を活かした産業振興のあり方や今後の方向性などの産業の振興に関する基本理念を定め、町・事業者・産業経済団体および町民の役割を明確にすることにより、個々の活動が均衡のとれた産業の振興と地域社会の発展に貢献することを目指すところ。当たり前と言えども、当たり前だが、まず町より範を示すべく、全発注業務の見直しを図り、町内で調達できるものは、町内で発注すること。また、地元企業や産業の育成、振興策として入札制度等の見直し

をすること。

過去においては、農業、商業、工業、観光等について個別の補助事業では、一体感が得られていなかった。本条例制定を契機に、戦略的に発注業務や補助事業を検討し、予算配分に優先順位を付け受け手が重点配分を実感できるように配慮することが望ましい。結果については事業者が反省し、町としては反省を踏まえ効果の分析とともに、次へつながる対策を講じより良い方向へ指導を願う賛成する。

議案への反対討論

【議案第3号】

個人住民税の控除対象者の見直しに反対

地福 美枝子 議員

個人住民税の控除対象者の範囲、定義の見直しについて、就業調整の壁を本質的に取り除くわけではなく、配偶者とはかの扶養親族との不平等が生じる問題があるので、反対する。

報告

【報告第1号】

継続事業の景観計画策定業務の終了に伴う報告

平成26年度から平成28年度までの継続事業として実施した「景観計画策定業務」が終了したので、平成28年度一般会計予算継続費精算報告書のとおり報告するもの。

【報告案第2号】

決算に基づく財政健全化判断比率を議会に報告

平成28年度決算に基づく財政健全化判断比率について、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。内容としては、一般会計と公営企業会計を含む全会計で赤字はなく、早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあることについて、報告するもの。

平成29年9月議会で議員から提案された発議案等は次のとおりです。

発議案

【発議案第1号】

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書を国に提出するもの

政府は、義務教育費国庫負担制度を見直しや廃止を言及しているが、同制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持ち、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、同制度を堅持するよう強く求める意見書を国に提出するもの。
※賛成多数で可決



教育水準の維持向上を



学校施設整備費の充実を

【発議案第2号】
教育予算拡充に関する意見書を国に提出するもの

以下の点を求める意見書を国に提出するもの。

- ◎震災からの教育復興に関わる予算の拡充を十分に図ること。
- ◎少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること。
- ◎保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること。
- ◎就学援助や奨学金事業に関わる予算をさらに拡充すること。
- ◎総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること。
- ◎危険校舎、老朽校舎の改築や更衣室、洋式トイレ設置等の公立学校施設整備費を充実すること。

◎安全で充実した学習環境を保障するために、基準財政需要額の算定基準を改善し、地方交付税交付金を増額すること。

【発議案第4号】
都市計画事業基金の設置、管理および処分に関する条例に対する付帯決議

都市計画税の収納額ならびに充当対象事業および充当額を毎年度決算時に町議会および町民に対し、報告または、公表することを求めるもの。

保するのが町長の責任である。町長は「双方が弁護士を立てて対応している」との回答であるが、平成28年9月15日以降、1年以上弁護士は動いていない。町は弁護士費用も予算化もしていない。町長には解決しようとする姿勢が全く見られない。議会は、町長に対して未然の事故防止に万全を期すべきである。以上の意見から賛成する。

【発議案第3号】
青少年交流の家の代替え施設確保等に係る意見書を提出するもの

町議会として、現状を深く憂慮し、ここに以下のとおり意見を具申するもの。

- ◎青少年等の利用者の安全を最優先に、現有施設の再点検と必要な措置を講ずるとともに、既存の施設を有効活用等により確保する等、未然の事故防止に万全を期されたい。

【議案第3号】
未然の事故防止に万全を期すべき

竹尾 忠雄 議員

青少年交流の家は、1年6か月が経過しても解決の見通しがない。子どもたちが現在利用している建物は「耐震不適格物件」、「危険物」と町長は議会で答弁している。利用者の命と安全を守るために管理者として使用中を判断すべき。子どもたちが利用できる代替え施設を確保

※賛成多数で可決

※賛成多数で可決

発議案への賛成討論

選挙管理委員会委員および補充員の選挙

本定例会の最終日(9月27日)に選挙管理委員会委員および補充員の選挙を行い、議長による指名推選で別表のとおり委員および補充員が決定しました。

県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

本定例会の最終日(9月27日)に追加日程として、千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行い、佐藤修二議員が千葉県後期高齢者医療広域連合議会の議員になることが、決定しました。



佐藤 修二 議員

別表1 選挙管理委員会 委員

氏名	党派
たかきぎ 輝夫 高崎 輝夫	無所属
おか 恭子 岡 恭子	無所属
やすだ 文雄 安田 文雄	無所属
こばやし 静江 小林 静江	無所属

別表2 選挙管理委員会 補充員

氏名	党派
みやま としゆき 深山 敏行	無所属
うざわ とみこ 鵜澤 登美子	無所属
ふくだき 一郎 福田 喜一郎	無所属
たなか よしひろ 田中 義弘	無所属

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長
○…副委員長

総務常任委員会

※議会事務局、総務課、企画財政課、
会計課、選挙管理委員会、監査委員
その他の事務についての審査を担当委員 ◎平澤／○那須
高崎／佐藤
川島

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	都市計画事業基金の設置、管理および処分に関する条例の制定	4	0	原案可決
議案第9号	一般会計補正予算（第4号）委員会担当分野	4	0	原案可決

教育民生常任委員会

※税務住民課、住民協働課、健
康福祉課、教育委員会、固定資産
評価委員会についての審査を担当委員 ◎御園生／○濱口
地福／越川
江澤／齊藤

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第3号	税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定	5	0	原案可決
議案第4号	都市計画税条例の一部を改正する条例の制定	5	0	原案可決
議案第9号	一般会計補正予算（第4号）委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第10号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	5	0	原案可決
議案第11号	介護保険特別会計補正予算（第1号）	5	0	原案可決
議案第12号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	5	0	原案可決
請願第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願書	4	1	採 択
請願第2号	国における平成30年度教育予算拡充に関する請願書	4	1	採 択

経済建設常任委員会

※経済環境課、まちづくり課、
上下水道課、農業委員会に
ついての審査を担当委員 ◎小早稲／○須藤
竹尾／内海
酒瀬川

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	産業振興基本条例の制定	4	0	原案可決
議案第9号	一般会計補正予算（第4号）委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第13号	水道事業会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決
議案第14号	下水道事業会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・・・○ 反対・・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	濱口	須藤	酒瀬川	那須	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤(議長)	江澤	平澤	越川	竹尾	地福	小早稲	高崎
議案1	都市計画事業基金の設置、管理および処分に関する条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案2	産業振興基本条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案3	税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
議案4	都市計画税条例の一部を改正する条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案5	県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更および規約の一部改正に関する協議	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案6	平成28年度一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定	認定 (賛12・否3)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
議案7	平成28年度水道事業会計剰余金の処分および決算の認定	認定 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案8	平成28年度下水道事業会計決算の認定	認定 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案9	一般会計補正予算	可決 (賛14・否1)	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案10	国民健康保険特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案11	介護保険特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案12	後期高齢者医療特別会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案13	水道事業会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案14	下水道事業会計補正予算	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
請願1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願書 請願者 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連合会 会長 齋藤 晟	採択 (賛10・否5)	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	×	×	○	○	×	×
請願2	国における平成30年度教育予算拡充に関する請願書 請願者 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連合会 会長 齋藤 晟	採択 (賛10・否5)	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	×	×	○	○	×	×
報告1	平成28年度一般会計予算継続費精算報告書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告2	財政健全化判断比率および資金不足比率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
発議案1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書 提出者 御園生浩士議員他4名	可決 (賛10・否5)	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	×	×	○	○	×	×
発議案2	国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書 提出者 御園生浩士議員他4名	可決 (賛10・否5)	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	×	×	○	○	×	×
発議案3	青少年交流の家の代替え施設確保等に係る意見書 提出者 齊藤 博議員他4名	可決 (賛14・否1)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○
発議案4	都市計画事業基金の設置、管理および処分に関する条例に対する付帯決議 提出者 齊藤 博他2名	可決 (賛10・否5)	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	×	×	○	○	×	×

※件名は一部省略しています。

町の将来を考え

先進的な取り組みを学ぶ

人口減少対策や議会活性化などについて他町の議員と活発な意見交換を実施

平成29年10月12日、13日に町議会議員が神奈川県大磯町、山梨県南部町を訪れ、視察研修を行いました。

大磯町では、先進的に議会改革と議会活性化に取り組んでおり、当町議会においても今後、議会改革に取り組んでいくこと

から大磯町における改革の経緯や実施状況、その影響などについて研修しました。

南部町では、人口減少がすでに進み、10年間で約2000人が減少し、現在約8000人の人口規模であることから、将来の町の人口減少対策のヒントがあると考え、南部町が実施している人口減少対策、定住化対策の実例と今後の計画等について研修をしました。当町において

も、人口減少対策は喫緊の課題となっていることから、活発な意見交換が行われました。

また、8月2日には、オークラ千葉ホテルで千葉県町村議会議長会主催による「千葉県町村議会議員研修会」に当町の町議会議員が参加しました。

研修会では、国政の状況について、政治ジャーナリストの泉宏氏から今後の政局の展望につ



大磯町では議会改革の実施状況やその影響を学びました



廃校となった学校用地を宅地分譲するなど様々な取り組みを行っている南部町



9月の衆議院解散について言及していた泉宏氏



県内の町村議会議員が集まるので、議員間の交流もできます

いて、また、人口減少社会における地域活性化について、明治大学政治経済学部の教授で日本創生会議のメンバーでもある加藤久和氏から、人口減少社会においては、行政のコンパクト化や人材育成が今後の重要なポイントであることを学びました。

議会改革特別委員会を設置

近年、地方議会では、様々な課題が浮上しており、当町議会においても、町議会議員選挙が無投票になるなど、議員の成り手の問題が発生しています。

このようなことから、議会として、時代に即した議会運営、町民に開かれた議会などについて、今後、調査研究していくことが必要であることから、9月定例会において高崎議員の動議により、議会改革特別委員会設置を決定しました。



副委員長
地福 美枝子 議員



委員長
齊藤 博 議員

プリミエール 増築工事を否決

平成29年7月臨時会で上程された議案は次のとおりです。

議案

【議案第1号】 一般会計を増額補正

子ども・子育て支援施設設置工事に係る監理業務委託料225万6千円を増額するもの。

※賛成多数で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	64億3391万9千円
補正額	225万6千円
合計	64億3617万5千円

【議案第2号】 子ども・子育て支援施設設置工事の議決を求めること

子ども・子育て支援施設設置工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、島田建設株式会社と1億237万3200円で仮契約を締結したので、議会の議決を求めるもの。

※賛成多数で可決

【議案第3号】 プリミエール増築工事の議決を求めること

プリミエール増築工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、日幸建設株式会社と1億2387万6千円で仮契約を締結したので、議会の議決を求めるもの。

※賛成少数で否決

議案への賛成討論

【議案第2号、第3号】

適切な入札が実施されていることから賛成

越川 廣司 議員

今回の案件については、入札に関する要綱等により、実施されている契約であることから賛成する。

議案への反対討論

【議案第2号、第3号】

説明不足と費用対効果を考え反対

齊藤 博 議員

議案の説明について、町が議会を無視し、必要な資料も提供しない体質であることを痛感した。両施設とも町民が望んでいる施設ではあるが、子育て支援施設では落札者に問題があると

考える。また、プリミエールの増築工事については、費用対効果を考えると1億円をかけて増築するべきではないと考え反対する。

【議案第2号、第3号】 町民が望む施設だが説明不足により反対

竹尾 忠雄 議員

町民が望む施設ではあるが、議会、町民への説明責任が果たされていない。議会に対して適切な資料提供、ていねいな説明がなされていないことから反対する。



増築工事予定のプリミエール酒々井

議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・○ 反対・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	濱口	須藤	酒瀬川	那須	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤(議長)	江澤	平澤	越川	竹尾	地福	小早稲	高崎
議案1	一般会計補正予算	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	○	○
議案2	工事請負契約の締結(子ども・子育て支援施設設置工事)	可決 (賛9・否6)	○	○	○	×	×	○	×	○	—	○	×	○	×	×	○	○
議案3	工事請負契約の締結(プリミエール酒々井増築工事)	否決 (賛6・否9)	×	○	○	×	×	○	×	○	—	×	×	○	×	×	×	○

※件名は一部省略しています。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。9月定例会の一般質問は、9月12日と13日の2日間に10名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館(プリミエール酒々井内)で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ(しすいちゃん)

No.1 御園生 浩士 議員 P 15

- ◆酒々井小学校の不祥事
- ◆酒々井町青少年交流の家
- ◆防災事前行動計画
- ◆各まつり
- ◆国保収納率

No.2 那須 光男 議員 P 15

- ◆ふれ愛タクシー
- ◆ふるさと納税寄付金
- ◆青少年交流の家の建設問題
- ◆新中川橋近辺の生活道路と用水路

No.3 酒瀬川 健一 議員 P 16

- ◆地域の産業育成
- ◆所有者不明の土地
- ◆ゴミ看板の取り換え

No.4 平澤 昭敏 議員 P 16

- ◆地域防災力
- ◆公共施設敷地内の有効活用
- ◆ヒアリ対策
- ◆小中学校の洋式トイレ

No.5 濱口 信昭 議員 P 17

- ◆最近の議会関連
- ◆総合戦略 基本目標 3 関連
- ◆日本版CCRC関連
- ◆ふるさと納税関連

No.6 齊藤 博 議員 P 17

- ◆ふれ愛タクシーおよびスクールバスの運営
- ◆中川の浚渫
- ◆町道1B-051号の整備
- ◆青少年交流の家

No.7 須藤 伸次 議員 P 18

- ◆自主財源比率の向上
- ◆人口増加対策
- ◆上岩橋の病院建設
- ◆道路改良計画および維持管理

No.8 江澤 眞一 議員 P 18

- ◆酒々井町個別施設計画
- ◆酒々井町地域防災計画

No.9 竹尾 忠雄 議員 P 19

- ◆道路問題
- ◆青少年交流の家
- ◆馬橋地区の盛土崩落
- ◆尾上地先の高崎川に発生した大量の泡
- ◆庁舎の耐震補強工事

No.10 地福 美枝子 議員 P 19

- ◆国民健康保険制度の県単体化
- ◆町長の政治姿勢
- ◆介護保険制度における認知症
- ◆子ども・子育て支援施設
- ◆就学援助

※各議員の質問事項については、本紙に掲載してある質問をゴシック体で表記してあります。



盗難の被害にあった酒々井小

問 酒々井小（徴収金の盗難事件）の不祥事はどうなっているのか

答 警察に被害届を提出し捜査は継続中である

問 7月11日に酒々井小学校の校長室内にある金庫から徴収金が盗難される事件が発生したことから、次の点を伺う。

- ① 事実関係と現在までの経過
- ② 徴収金盗難の再発防止策
- ③ 損害金の回復

学校教育課長 ① 7月12日の朝、徴収金の紛失が判明した。全職員で捜索したが発見できなかったため、13日に被害届を提出し、捜査は継続中である。保護者へは該当学年の保護者会を開き、謝罪するとともに文書で報告した。

② 13日に臨時校長会を開き指導を行うとともに、27日には小中学校の全職



御園生 浩士 議員

員に対して不祥事根絶の研修会を実施した。

③ 紛失した現金は校長が立て替え、業者には支払い済みである。

青少年交流の家の事業者との交渉経過は

問 青少年交流の家の事業者である（株）ヤマロクから反応がなければ交渉できないと町では判断しているようだが、利用者が一番の被害者である。このことを念頭に据え、速やかに問題を解決してほしいことから、（株）ヤマロクとの交渉経過を伺う。

生涯学習課長 （株）ヤマロクとの交渉経過について、その後の動きはない。経過については、平成28年9月15日にヤマロク代理人弁護士より酒々井町代理人弁護士へ通知があり、9月9日の期限を過ぎても契約変更の提案がないため、契約を解除する。5月9日付けで通知した2446万791円を請求する。請求の内容については近く示すようになっていたが、それ以降、相手方からの通知はない。

問 1台減車となったふれ愛タクシー利用状況と現状は

答 最も多く利用されている時間帯で53・3%の乗車率である

問 すいふれ愛タクシーが1台減車されたが、次の点を伺う。

- ① 本年4月から7月までの4か月間の各月の利用者数
- ② 前年の各月の利用者数
- ③ 各月の利用者数の増減数
- ④ 1台減車しても大きな支障はないと、3月議会で課長は答弁したが現在、支障はないのか。
- ⑤ 昨年度、4か月間の4台での延べ利用者数と今年度3台での利用者数
- ⑥ 利用しにくいなど利用者から寄せられているようだが、その主な声

健康福祉課長 ① 4月が1286人、5月は1248人、6月は1374人、7月は1406人である。

②、③ 4月が1409人で123人の減、5月は1415人で167人の減、6月は1596人で222人の減、7月は1560人で154人の減となっている。

④ ふれ愛タクシーは3台で最大30人乗車できるが、4月から7月までの運行日報によると最も多い時間帯でも16人（53・3%）の状況である。



那須 光男 議員

⑤ 本年度が5314人、平成28年度は5980人である。

⑥ 待ち時間が長くなった、希望時間に利用できない等の意見を伺っている。

ふるさと納税寄付金の状況は

問 ① 今年度の寄付金収入を1200万円見込んでいるが、現在までの寄付金と今後の見通し

② 返礼品の内容

③ 広報活動の具体的内容

④ 27年、28年度の実績

⑤ 町民が他市町村にふるさと納税した結果、町の税収の減収額

企画財政課長 ① 8月28日現在で248万円の寄付金がある。今後も町をPRしつつ制度の活用を図っていく。

②、③ 寄付金に応じ、落花生、日本酒、梨など町の特産品を贈呈し、町の魅力を町外にPRしていく。

④ 平成27年度が20万円、28年度は27万7千円となっている。

⑤ 差額として、平成27年度は546万5千円、28年度は802万8千円マ

問

小規模事業者への支援で
町の活性化を

答
異業種間の連携や融資制度の活用
特産品のPR等が必要



酒瀬川 健一議員

問 地域の産業と後継者育成支援について、厳しい経営状況が続く町内の小規模事業者の事業振興のため、町はどのような支援策が必要と考えているか。また、農業従事者も含めて、後継者養成と人材育成への特段の支援についての認識と課題について伺う。

町長 本議会に町内産業に関する基本的な考え方を定める町産業基本条例を上程し、その中で、今後のあり方について産業振興推進会議で意見をいたしながら進めていくことになるが、地域特性を活かしながら異業種間の連携や融資制度の活用を推進するとともに、特産品のPR活動などの取り組みが必要であると考えている。人材育成については、米価の低迷や農業機械にかかるコスト問題等、農業所得が増えなければ担い手の育成も難しい状況であると考え、町担い手育成支援事業補助金を創設し、農業用機械や施設の改良等について支援を行っている。また、商工業については、地域クラウド交流会の開催等により企業家の支援を行っている。

問 全国では所有者不明の土地が増え、所有者の同意が得られず事業の変更を余儀なくされているが、町に所有者不明の土地がどのくらいあるのか。また、耕作放棄地や手入れがされていない荒れた山林も見られるが、その対処法について伺う。

所有者不明の土地問題

町長 平成29年度に賦課した法定免税点以上の土地の納税義務者は6525人となっており、その中で、納税管理人を設定しないで母国へ強制送還され送付先不明となっているものが1件、相続人全員が相続放棄し、相続人が不在となっているものが7件ある。また、課税対象とならない法定免税点未満の土地があり、納税義務者が1745人いることから、この中にも所有者不明土地が存在すると思われる。対処法については、民法の規定により相続放棄した場合でも相続財産管理人が選定されるまでは、遺産を管理する義務を負うことから、相続放棄者に対して関係課で連携し、資産管理を促していきたい。

問

地域防災力向上の取り組みは

答
消防団員の加入促進や防災活動に必要な資材購入の助成をしている



平澤 昭敏議員

問 大規模災害が発生した場合は、公助が行き届かなくなることから、地域防災力が重要になる。そこで、町の取り組み状況を伺う。また、防災士の育成について、町の取り組みを伺う。

町長 大規模災害時には人手不足から自助や共助が大変重要となるが、現在の消防団は10名が欠員となっている。このため、消防団への加入が促進されるよう平成27年度には、団員の報酬を増額するとともに、地域の方の協力により団員の増員に努めている。また、地域における自主防災活動の促進を図るため防災活動に必要な資材購入に要する経費を助成している。さらに、民間企業との災害協定を今後も積極的に締結できるよう取り組んでいく。防



地域住民の消火訓練

災士育成については、地域防災の担い手となる人材育成および地域防災力の向上を目的とし補助金交付要綱を定め、防災士の資格を取得する住民の方を対象に補助を行っている。

公共施設の空き部屋を活用できないか

問 公民館やプリミエールにコンビニを開設するなど、公共施設の空き部屋の有効活用について、町の考えを伺う。

企画財政課長 行政財産である公共施設は、条件を満たした時に貸し付けることができ、人口減少が顕著な自治体や合併した自治体等では利用率の低い公共施設を有していることから、有効活用に取り組んでいる事例がある。当町では、土地を民間事業者に貸し付け、収入を得ている事例がありますが、当町が所有する建物や敷地は年間を通して行政目的以外の利用ができる余裕はほとんどない状況である。しかしながら、公共施設の有効活用を図ることは重要であることから、施設の利用状況や先進事例を踏まえ、引き続き検討していきたい。

問 議会に対する説明責任と情報開示は適切に行われているか

答 プレゼン能力を高め
わかりやすい説明に努める



濱口 信昭議員

問 最近、議案の否決が続いている。議会に対する説明責任と情報開示の不足にその一因があるように思えるが、町としての見解を伺う。

副町長 提出議案や町の計画など、機会をとらえ全員協議会等で説明を行ってきたが、一部議案については、議員の理解が得られなかったことは、非常に残念に思っている。今後、職員のプレゼン能力を高め、説明方法を工夫するなど、わかりやすい説明に努めていく。

若い世代への施策の実施状況は

問 総合戦略の基本目標3に関連し、次の点を伺う。

① 町のネウボラの考え方に基づく
と、業績評価指標に保健センター事業
分が含まれるべきではないか。

② 業績評価指標にある中学生の英語
検定の取得状況と推進施策は。

こども課長

① 酒々井版ネウボラ事
業は実施しているが、重要業績評価指
標では子ども・子育て支援施設を想定
したことから数値を「0」としたので、
ご理解いただきたい。

問 ふれ愛タクシーを4台に戻すべき

答 多様な移動手段を
総合的に検討していく



齊藤 博議員

問 本年度から車両が1台減って3台
の運行となったが「待ち時間が長くな
った」等の苦情が多く寄せられている。
昨年と比較すると「1日平均9人減っ
ている」とのことだが、原因は1台減
って利用しづらくなった結果だと思
う。なぜ減車したのか。今後、利用の
対象者は増加するはずである。4台に
戻すべきだと思うが、町の考えを伺う。
また、今年度に増車の検討をしたのか。

健康福祉課長 今後予想される免許返
納者や高齢者の増加を考えると、現在
のふれ愛タクシーのシステムでは対応
できないと認識している。今後は実態
調査を進めるなど、福祉タクシーの拡
充を含め、多様な移動手段を総合的に
検討していくことが必要である。



1台減車となり現在3台で運行
しているしふれ愛タクシー

**スクールバスを実質の無料から
真の無料化へ**

問 結果的にスクールバスの保護者負
担はなくなったが、もう一步進めて保
護者の「立替払い」をなくす事務処理
を実施すべきと思う。教育委員会の考
えを伺う。

学校教育課長 墨方面で利用している
町所有のスクールバスは運賃を徴収し
ていないが、社会福祉協議会に委託し
ているスクールバスは、一旦料金を徴
収し、年度末に返金している。

中川の土砂等撤去は実施されるのか

問 平成23年、町民有志392名の請
願により、中川の土砂撤去がされたが、
すでに5年が経過した。3年前の質問
には「状況を観察し」との答弁であっ
たが実施されなかった。土砂の堆積と
そこからの草木の繁茂が明らかにな
ることから町の認識を伺う。

上下水道課長 今後、護岸の倒壊が起
こらない程度で、水路機能の障害とな
っている樹木や蓄積が著しい箇所につ
いて、時期を見ながら対応していく。

問 自主財源比率を高めるための戦略は

答 総合的な展開により自主財源の確保に努める



須藤 伸次 議員

問 町として自主財源比率を高め、財政基盤を強固にすることが重要と考え

るが、取り組みについて次の点を伺う。
① 平成29年度、30年度の町税の伸び率および額を伺う。
② 生産年齢人口の増加対策として、現状と今後の計画を伺う。
③ 企業誘致について、過去の実績と現在の取り組みについて伺う。

答 ① 平成29年度は7月末で1・62%の増、約4300万円の増である。30年度は、固定資産税の評価替えの年で現時点で算出できない。

町長 ② インターチェンジや南部地区新産業団地の整備を進めてきたことにより、税収が増え住民税の減少分を補う形になっている。今後も総合的な展開により自主財源の確保に努める。

経済環境課長 ③ 南部地区新産業団地にアウトレット等が出店し、9月末にはいずもマルシェがオープン予定である。現在、企業立地促進条例の施行や用地登録制度、新規立地奨励金制度、雇用促進奨励金制度を創設し、企業誘致を進めている。

問 各公共施設の改修等はどのように取り組んでいくのか

答 計画に沿いながら状況に応じて対応していく



江澤 眞一 議員

問 公共施設の改修等の計画について、本年度から5年間となっているが、各施設の現状と今後の取り組みについて町の考えを伺う。

① 学校教育系施設について、学校給食センターおよび中学校の体育館屋根改修の現状と今後の計画について伺う。
② スポーツ、レクリエーション系施設について、酒々井ちびっこ天国および町体育館の計画について伺う。
③ 保健、福祉施設として、保健センターのトイレの改修計画について伺う。

答 ① 学校給食センターは、施設の老朽化への対応が必要であり、今後は熱風消毒保管庫の入れ替えやトイレ等の改修を予定している。

学校教育課長 ② 町体育館は耐震性に問題があることから住民への貸し出しを中止し、倉庫として利用している。個別施設計画では、今後整備を検討することとしていることから、引き続き財源等も含めて総合的に検討していく。



体の不自由な方も利用できるトイレの改修計画が進んでいる

健康福祉課長 ③ 保健センターは築後30年以上が経過し、トイレは大部分が和式であったり、床に段差があるなど利用者に不便をかけている状況であることから、本年度は親子連れや妊婦の方、体の不自由な方にも配慮したトイレの改修計画を行っている。

問

学校、PTA、生徒から危険と通学路の安全確保ができない理由は

答
待避所の設置と速度抑制を図る
安全対策を実施した



竹尾 忠雄議員

問 国道296号オガワのピーナッツ

から下った上郷地先の福美造園の下の狭隘道路は、平成22年の中学生模擬議会でも「改善してほしい」と指摘され、町長は「通学路として安全を確保しなければならぬ道路とは十分認識している」と答弁しているが7年経過しても拡幅できない理由を伺う。

まちづくり課長 現道は、拡幅計画がないことから、平成24年度に路肩拡幅による待避所の設置と平成26年度にすべり止めのカラー舗装を設置し、速度抑制を図る安全対策を実施した。



上岩橋区上郷地先の通学路

青少年交流の家の問題は町長の
任期中にトップ交渉を行うべき

問 町長は現在利用している建物が

「耐震不適合物件」なので、施設の新築を決定したが、工期末日から一年半が経過しても何の動きもないことから次の点を伺う。

- ① 子どもたちの安全を確保するため、代替施設の確保が必要と思うが。
- ② 町と業者の代理人との話し合いは何回行ったのか伺う。
- ③ 町長と業者のトップの話し合いを町長の任期中に行うべきと思うが、考えを伺う。

町長 ① 今後とも出来高精算による目的物の引き渡しについて、顧問弁護士と協議し、適切に対応していく。

生涯学習課長 ② 話し合いの回数は、(株)ヤマロク代理人弁護士から3回、町代理人弁護士から3回それぞれ文書による通知があった。

町長 ③ 双方とも弁護士を立てて対応していることから、あえてトップ交渉をする余地はないものと考えている。仮にどちらかが申し入れトップ交渉をした場合は、双方とも弁護士活動の混乱や妨げになる可能性がある。

町長 ③ 双方とも弁護士を立てて対応していることから、あえてトップ交渉をする余地はないものと考えている。仮にどちらかが申し入れトップ交渉をした場合は、双方とも弁護士活動の混乱や妨げになる可能性がある。

問

国保県単位下で町民の負担軽減になるのか

答
町が担う事務の効率化、標準化、
広域化が推進される



地福 美枝子議員

問 ① 町民にとってのメリットは。

- ② 試算においても保険料引き上げの当町、町民負担もやむを得ないのか。
- ③ 負担軽減の独自の制度、制度外繰り入れを考えるべきではないか。

健康福祉課長 ① 市町村が担う事務の効率化、標準化、広域化が推進される。

- ② 現在、国からの追加公費の反映や激変緩和措置などの試算の段階である。
- ③ 保険料は今後、県が示す試算結果に基づき検討するが、町国民健康保険運営協議会の意見等を踏まえながら、安定した財政運営が図れるよう保険税率等を決定していきたい。

町長の政治姿勢を問う

問 ① 公約「子育て支援・県下一の福祉の町」について、自分の評価は。

- ② 国策に関わる平和問題について、自分の意見をなぜ表明しないのか。
- ③ 最近の議案説明不十分に対し、どのように感じているか。

町長 ① 子ども医療費助成をはじめ第3子以降の給食費無償化や子ども子育て支援施設の建設、また病院の誘

致が決定するなどこれまでの施策とあわせ着実に進めていると考えている。

- ② 住民に身近な政策に関する案件ではないため、公的意見は国会の動向を今後も注視していく。
- ③ 議会の理解を得られなかったのは残念であり、今後は、よりわかりやすい説明に努めていく。

町の認知症の現状、窓口の対応はどのようになっているのか

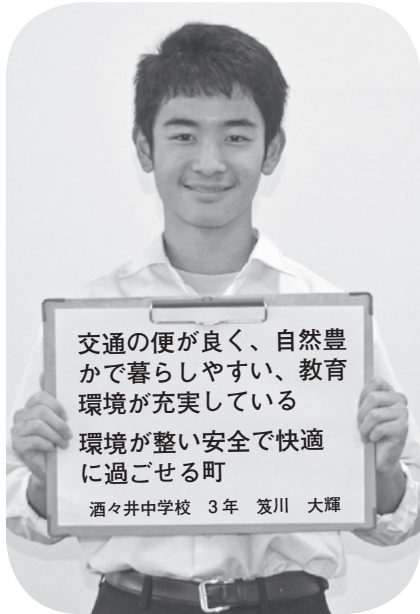
健康福祉課長 地域包括支援センターが高齢者の総合窓口として、様々な相談に応じている。

子ども・子育て支援施設の概要は

問 子ども・子育て支援施設の規模や機能をどのように考えたのか。また、治水、雨水対策、太陽光パネル設置などをどのように考えているのか。

こども課長 1日当たりの利用者を40人程度と見込んで、親子の交流や相談等により、育児の孤立を予防する。大雨の際の利用はあまり見込まず、自然エネルギーの設備は設けていない。

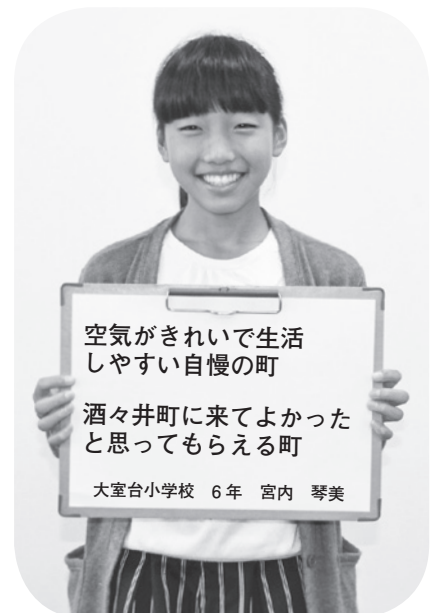
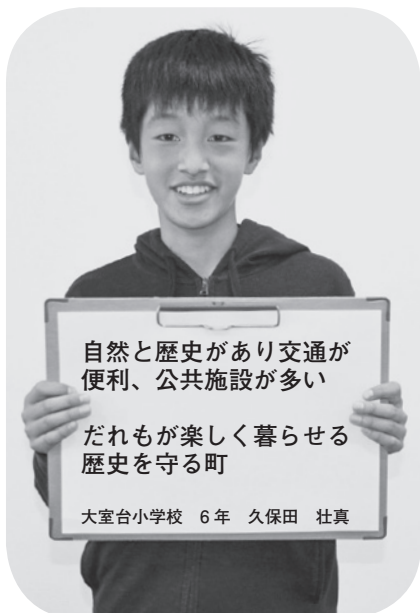
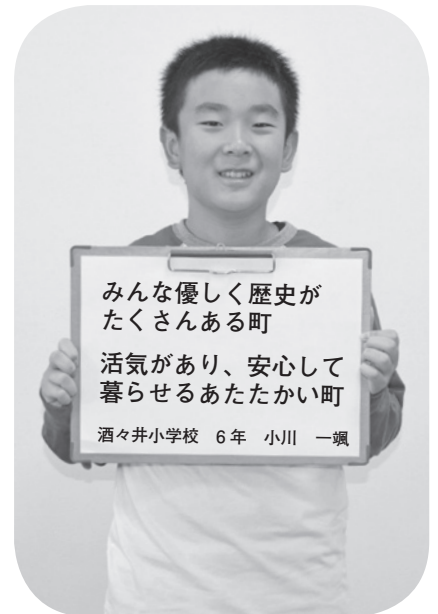
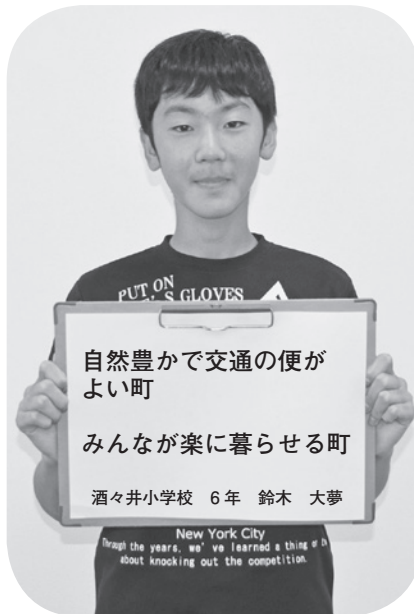
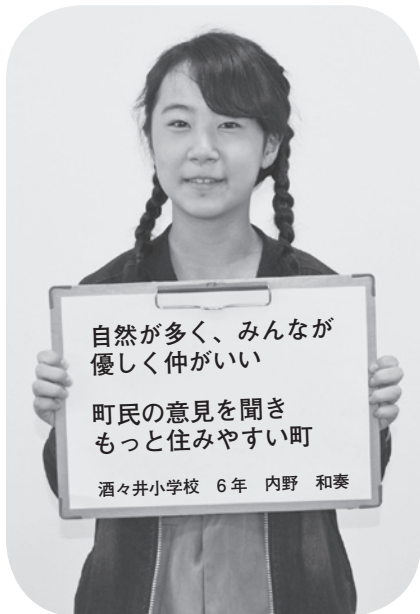
子ども医療費助成をはじめ第3子以降の給食費無償化や子ども子育て支援施設の建設、また病院の誘

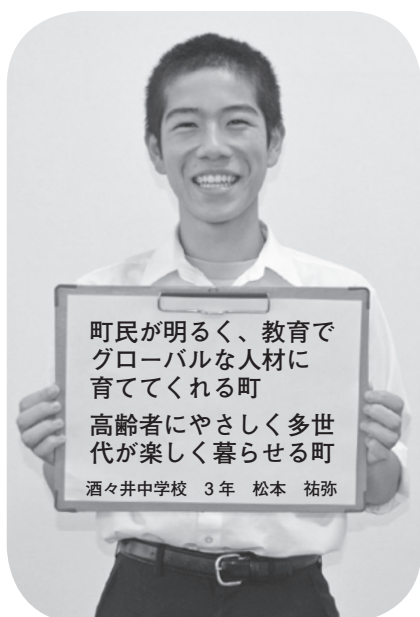
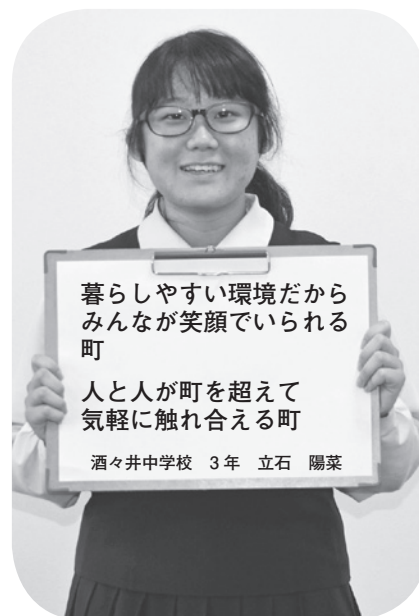
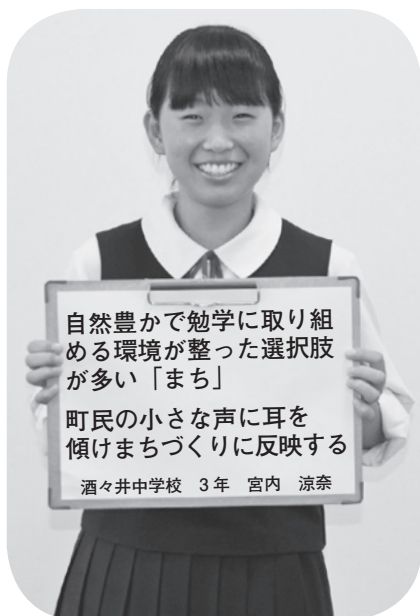


小学生・中学生議員に**聞**きました

酒々井町って
どんな **まち** ?

議員になったら
どんな **町** にしたい?





小・中学生議員が町長に

質問

地域活性化や安全対策などの普段感じていることを15人の子どもたちが質問・提案

こども模擬議会が10月18日に役場分庁舎2階で開催され、酒々井小学校、大室台小学校、酒々井中学校の各代表者16人が参加しました。当日は、議長以外の15人が少子高齢化対策や循環バスの導入の提案など町政に対して普段感じていることや疑問に思っていることを質問しま

した。模擬議会の最後には、議長を務めた笈川大輝さんから「日々町を良くするために対策が講じられているのだから、今後は、町に関心を持って今、自分が町のためにできることを意識し、町に協力していきたい。」とあいさつがありました。



当日参加した小中学生と町長、議長、副町長、教育長



自分の意見をしっかりと発言していました

<小・中学生議員質問一覧>

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| ① 小川 一颯 (酒々井小 6年)
酒々井リサイクルセンターの熱利用 | ⑧ 吉田 由理 (酒々井中 3年)
地球温暖化対策 |
| ② 鈴木 大夢 (酒々井小 6年)
レンタサイクルの活用 | ⑨ 小池 豊 (酒々井中 3年)
通学路の整備 |
| ③ 内野 和奏 (酒々井小 6年)
児童センターの計画 | ⑩ 立石 陽菜 (酒々井中 3年)
プリミエールの活用 |
| ④ 宮内 琴美 (大室台小 6年)
宮本歯科の向かいの公園 | ⑪ 大胡 桜太 (酒々井中 3年)
少子高齢化対策 |
| ⑤ 米本 拓哉 (大室台小 6年)
ゴミをなくすための方法 | ⑫ 宮内 涼奈 (酒々井中 3年)
循環バスの導入 |
| ⑥ 久保田 壮真 (大室台小 6年)
公園のトイレや時計の設置 | ⑬ 大野 陸斗 (酒々井中 3年)
総合公園の整備 |
| ⑦ 新井 帆香 (酒々井中 3年)
災害時における防災無線の利用 | ⑭ 西川 明日香 (酒々井中 3年)
町の公園遊具の充実 |
| | ⑮ 松本 祐弥 (酒々井中 3年)
町バスの利活用 |

編集にあたって

今号から議案等の審議結果について、個人の賛否がわかるようにしました。
今後も町民に開かれた議会を意識しながら、より良いまちづくりに努めます。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 齊藤 博 |
| 副委員長 | 濱口 信昭 |
| 委員 | 川島 邦彦 |
| 委員 | 那須 光男 |
| 委員 | 酒瀬川 健一 |
| 委員 | 須藤 伸次 |

12月定例会のお知らせ

次の定例会は、12月中旬に開会する予定となっております。会期の概要は、12月5日に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期の概要が決まりましたら、町議会のホームページやポスターでお知らせします。
また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができ、傍聴席の定数は25名となっております。なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ (496) 1171
(内線251、252)